

O's News

脳梗塞に対する幹細胞移植治療

脳血管内治療科 主任部長 大西 宏之

近年、iPS細胞やES細胞といった多能性幹細胞を使った再生医療が注目されていますが、脳神経の領域においても徐々にこのような再生医療が研究されつつあります。当院では脳梗塞に対する骨髄幹細胞を使った再生医療の臨床試験に参加していますので、その一端をご紹介します。

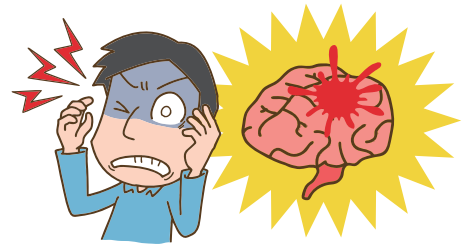
脳梗塞は、血栓(血のかたまり)によって脳血管内の血流が途絶えることで発症します。その結果、脳に十分な血液と酸素が供給されなくなり、脳細胞が死んで、永続的損傷をもたらされるおそれがあります。そのため、場合によっては死に至ったり、長期間に及ぶ障害(脳機能や運動の永続的喪失、会話や発語の困難、嚥下(えんげ)や咀嚼(そしゃく)の困難など)をもたらすことがあります。従来、このような後遺障害に対する治療はリハビリテーションしかありませんでしたが、再生医療による機能再生が期待されています。

一般的に再生医療に用いられる幹細胞は「多能性細胞」のことであり、この幹細胞から他の細胞、組織、器官、骨が形成されます。ヒト幹細胞には、出生児のごく早期形成中に生じる「胚性幹細胞」とすべての成人の組織に見いだされる「成体幹細胞」との2種類が存在し、今回の脳梗塞に対して用いられる幹細胞は成体幹細胞で成人ドナー骨髄由来の生

細胞から製造されています。

各種の動物実験では、脳梗塞や心筋梗塞などの動物モデルに対する有効性が報告されており、これらの結果をもとに、海外では、脳梗塞の患者さんを始め、心筋梗塞、肝移植を受けた患者さんや潰瘍性大腸炎などの患者さんに投与が行われています。実際、脳梗塞における治療メカニズムですが、脳梗塞急性期は時間の経過でどんどん神経細胞が障害されますので、骨髄幹細胞を点滴投与することによりリンパ球やサイトカイン(生理活性タンパク質)などによる炎症反応を抑え、増殖・栄養因子を放出して神経保護作用を促進することが期待されています。

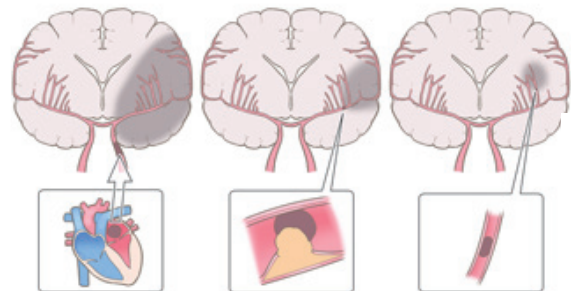
今後ますます臨床研究が進み脳梗塞の新たな治療として期待されています。



心原性脳梗塞

アテローム血栓性脳梗塞

ラクナ梗塞



新入職医師の紹介

氏名:片山 義英(かたやま よしひで)

専門医:脳神経外科医

趣味・特技:音楽鑑賞

好きな食べ物:チャーハン

医師として心掛けている事:患者さんの悩みを誠心誠意傾聴すること。

12月から
勤務して
います。



「物忘れ」ありますか？



秘書課 主任 度會 さやか

「テレビに出てくるタレントの名前が出てこない」「財布をしまった場所が思い出せない」といった経験はありますか？おおかた誰にでも起こりうることで、歳を取ると記憶力が低下することは避けられないものです。

クリニックにも「自分は認知症ではないか」「家族が認知症ではないか」とさまざまな理由で多くの患者さんが来院されます。現在の日本は超高齢社会で、日本人の平均寿命

は男女ともに世界のトップクラスです。高齢者が増え、認知症の人の増加も問題となりつつあります。なぜなら、認知症の最大の危険因子が「加齢」だからです。しかし、時に頭の中に重大な病気が潜んでいて、その病気が切っ掛けで物忘れの症状を引き起こす場合もあります。

いずれも早期発見により適切な処置をすれば、症状の進行を緩やかなものにできます。

毎日心配して思い悩む前に、ぜひクリニックの医師にご相談ください。



大西脳神経外科病院附属 明石駅前クリニック TEL:078-911-0024

診療時間		月	火	水	木	金
午前	受付時間	8:30~11:30	○	○	○	○
	診療時間	9:00~12:00	○	○	○	○
午後	受付時間	14:30~17:30	○	○	○	○
	診療時間	15:00~18:00	○	○	○	○

【診療科】脳神経外科、神経内科 休診日:土曜日、日曜日、祝日





日本の四季暦

「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子

むつき
睦月

新しい年を迎え、家族が集まり、仲睦まじくする月、改まった年に新しく生まれる「生む月」から由来しているともいわれます。元旦の朝、井戸から汲みあげた水「若水」。その水で作られたお雑煮を祝い箸（両方が細い）で神様と共にいただくのが、古い日本の風習でした。

二十二節気

冬至
とうじ

12/31~1/4(六十六候) **雪下麦出** / ゆきわたりにてむぎいずる

お正月の三が日の間に降る雪、雨のことを「富正月」と呼び豊作のしるしとされました。雪の多い年は豊作、「雪は五穀の精」ともいわれています。お節料理を囲み家族が集うお正月、今年もどうぞよい一年でありますよう。



二十三節気

小寒
しょうかん

一年で最も寒い「寒の内」。現代はヒートテックウェアやホットカイロなどが、寒さ対策の強い味方ですね。



1/5~9(六十七候) **芹乃栄** / せりさかう

門松など松飾りを飾り、歳神様が家庭に滞在する期間が「松の内」です。七草粥にも入れられる「蕪」。やさしい甘さの小かぶ、千枚漬けになる聖護院かぶら、日野菜、野沢菜もカブの一種です。葉はカロチン、ビタミンCなど多く含み栄養素も豊富です。



1/10~14(六十八候) **水泉動** / しみずあたたかをふくむ

極寒のこの時期に、地中の凍った泉が解け動き始めます。冬の雪景色の中に立つ鶴、頭上が赤く背が高いタンチョウヅルが有名ですね。春先に求愛行動である飛び跳ねたり、鳴き合ったりする「鶴の舞い」が見られます。



1/15~19(六十九候) **雉始雛** / きじはじめてなく

日本人にとって身近な鳥キジ、「けんもほろろ」はキジの鳴き声に由来し、桃太郎にもお供しました。1/15は「小正月」、小さく丸めた餅や団子を花のように枝に飾る「餅花飾り」をかざり、小豆粥、左義長などの行事も。かつては「元服」が1/15に行われ、今日の成人式に引き継がれました。

二十四節気

大寒
たいかん

凍てつく寒さの中、梅の便りも届きます。「寒仕込み」と呼ばれる味噌や、酒作りも行われます。



1/20~24(七十候) **款冬華** / ふきのとうはなさく

雪の合間に、早春を告げるふきのとうが顔を出します。冬の味覚として名高い「ズワイガニ」、焼きガニ、お鍋など美味しいですね。山口県以北の日本海側と茨城県以北の太平洋からオホーツク海の深海に棲み、鳥取の「松葉ガニ」、福井「越前ガニ」など地方によりブランド名があります。



1/25~29(七十一候) **水沢腹堅** / みずさわあつくあたし

沢に氷が張りつめ、寒さのピークのこの時期ですが、日が長くなるのを実感します。季節を告げる鮮やかな花「椿」。和風のイメージですが、東南アジアに生息する「オリエンタルな花」の一面も。ヨーロッパに渡り一大ブームが巻き起こった時に誕生したのがオペラ「椿姫」だそうです♪

今月の花

水仙 すいせん

原産地:地中海沿岸
分類:ヒガンバナ科スイセン属
学名:Narcissus
花言葉:「自己愛」「うめぼれ」



和名は「雪中花」。寒い冬の景色に芳香のある凛とした美しさです。うめぼれの強い美少年ナルキッソスが泉に映る自分の姿に恋をして、そのまますいせんになってしまったというギリシャ神話は有名ですね。こちらは黄色に赤い縁どりの、大ぶりの花「クチベニスイセン」をさしているそうです。大きく冬咲き（日本水仙など）と春咲き（ラッパスイセン、他）に分かれます。葉には毒性があり、ニラに似ているので、注意しましょう。花後は、葉が枯れるまで残し、球根に栄養を蓄えることが大切です。

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	前岡	角田	福留	松岡
	午後	高橋〈血〉	前岡	角田	福留〈FUS〉	松岡
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	片山
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	神経内科 立花	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	内科 電門(カマド) 第4週 てんかん 田村	神経内科 小坂田
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	第1・3週 神経内科 山下 第4週 てんかん 田村	脊椎・脊髄外来 山本

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

(2020.1)

連携協力医療機関のご紹介(No.190)

山本整形外科
リウマチクリニック

院長:山本 晃裕

【認定資格】日本整形外科学会認定 整形外科専門医・リウマチ医

【診療科目】整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

【住 所】加古川市加古川町寺家町90-2

【電 話】079-423-1411

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
8:30～11:30	○	○	○	○	○	○	/
15:30～18:30	○	○	○	/	○	△	/

※休診日:木曜日午後・日曜日・祝日

△土曜日午後の診療はお電話にてお問い合わせください。

※当院は院内薬局を採用しております。院外処方の場合に加算される患者様負担の軽減に努めております。



連携協力医療機関のご紹介(No.191)

増田内科医院

院長:増田 章吾



【認定資格】医学博士・日本内科学会 認定医・日本消化器学会 認定医・認定産業医

【診療科目】内科・消化器科・呼吸器科

【住 所】高砂市神爪5丁目8-6

【電 話】079-433-1313

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～11:30	○	○	○	○	○	○	/
16:00～18:30	○	/	○	/	○	/	/

※休診日:火曜日・木曜日・土曜日午後、日曜日・祝日

